

科目番号	49	科目名	神経科学総論A		
英 文 科 目 名	Introduction to Neuroscience (A)				
大学・短期大学名	びわこリハビリテーション専門職			大学	
連 絡 先	びわこリハビリテーション専門職大学 東近江(北坂)キャンパス事務センター				
	TEL :	0749-46-2311	FAX :	0749-46-2313	
担 当 教 員	三谷 章 ( リハビリテーション 学部 教授 )				
実 施 方 法	対面授業	遠隔授業	対面・遠隔併用		
教 室 名	4階 大教室	会場	八日市キャンパス		
授 業 期 間	2024 年 4 月 8 日 ( 月 ) ~ 2024 年 7 月 22 日 ( 月 ) <毎週 月曜日> 1 時限・講時 9 : 20 ~ 10 : 50				
超過時の選考方法	書類選考				
成 績 評 価 方 法	定 期 試 験 ( 筆 記 )				%
	レポート試験 ( 期 末 )				%
	平常点 ( 出 席 ・ 授 業 態 度 )				%
	そ の 他 ( 毎 回 実 施 の 小 テ ス ト の 成 績 )	100			%
別 途 負 担 費 用	なし		あり( )円		
そ の 他 特 記 事 項	学習支援システムmanabaを使用する。欠席連絡や質問等はmanabaを活用する。				
<b>&lt;講義概要・到達目標&gt;</b>					
<p>神経系全般の構造と機能について初級講義を行う。具体的には、①機能素子としてのニューロンの働き、②生命維持に重要な自律神経機能、③運動発現の仕組み、について講述し、神経系全般にわたる広い基礎知識の習得を促す。生命科学、心理学やリハビリテーション科学などを修めるうえで基盤となる神経系の包括的イメージの形成を目指す。</p> <p>講義内容は、文系・理系を問わず神経系に興味のある学生が聴講するというレベルである。そのため、スタート時点では神経科学の知識は必要ではないが、興味深い内容や必要とされる知識について積極的に自主学習するような学生の聴講が望まれる。また将来、神経系が関係する専門課程に進む学生がその知識の整理のために聴講するのも適している。「神経科学総論A」のみの受講も可能だが、「神経科学総論B」も受講することによって神経系全体を学習できるので、連続した受講を推奨する。</p>					
<b>&lt;授業スケジュール&gt;</b>					
回	月日	テーマ・キーワード			
1	4 月 8 日	ニューロンの機能(静止電位の形成)			
2	4 月 15 日	ニューロンの機能(活動電位の発生)			
3	4 月 22 日	ニューロンの機能(活動電位の伝導)			
4	5 月 6 日	ニューロンの機能(シナプス伝達)			
5	5 月 13 日	神経系の構成			
6	5 月 20 日	自律神経機能(構成、交感神経系、副交感神経系、調節機構)			
7	5 月 27 日	筋収縮機構(骨格筋の構造と興奮収縮連関)			
8	6 月 3 日	筋収縮(単収縮、強縮)			
9	6 月 10 日	脊髄(運動ニューロン、運動単位)			
10	6 月 17 日	脊髄(筋の受容器)			
11	6 月 24 日	脊髄(反射)			
12	7 月 1 日	大脳皮質運動野(構成、伝導路)			
13	7 月 8 日	脳幹の運動機能			
14	7 月 15 日	大脳基底核の構造と機能			
15	7 月 22 日	小脳の構造と機能			
<b>&lt;教科書・参考書&gt;</b>					
教科書は使用しない。原則、毎回の授業で配布する講義プリントを使用する。参考書は授業中に紹介する。					